概要

- ○離島地区における顕著な漁業者減少で低利用となっている**漁港施設を有効活用し地域活性化**を図る。
- ○岸壁・泊地・用地等を利用転換し、**民間資金によるマリーナや水産物の販売・食事の場を整備**。
- ○近隣都市のインバウンド効果を離島の漁港地域にも導き、地域一体の経済・交流の活性化を図る。
- ○離島特有の資源を活用した「**新たな働き方」による新規漁業従事者を開拓**する。



海業の取組概要



漁港水面施設運営権の活用など、既存 の漁港施設を中心に魚食の拡大・消費 増進により地域全体を活性化!







地元水産物の魚食拡大

「新たな働き方」で新規漁業従事者を 開拓し、離島地域の戦力・活力に!



の取り込みに挑戦!







日中:海女や養殖作業、一本釣りなど

効果

漁業者及び地域一帯の所得向上や 賑わいの創出を期待。

- ・リタイヤ漁業者等の就労の場づくり
- ・魚食の拡大・消費増進
- ・インバウンド効果の新たな獲得
- ・新たな働き方で新規漁業就労者開拓

協力体制

〔芦辺「海業」推進協議会〕

◎壱岐東部漁業協同組合(会長)

- 長崎県壱岐振興局、壱岐市
- 地元自治会関係団体
- 地元水産関係企業等関係団体
- 地元旅館業関係団体
- 地元商工会
- 移住漁業者等

スケジュール

令和6年 海業導入計画検討・策定 インバウンド受入試行 令和7年 令和8年 魚食拡大施設運営開始 令和9年 マリーナ受入開始

R5.12「壱岐の島で牡蠣の殻洗い隊」ツアー

継続してきた「漁業体験ツアー」の

拡大とともに、新たにインバウンド

早朝:サーフィン